

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果分析

【中学校 国語】

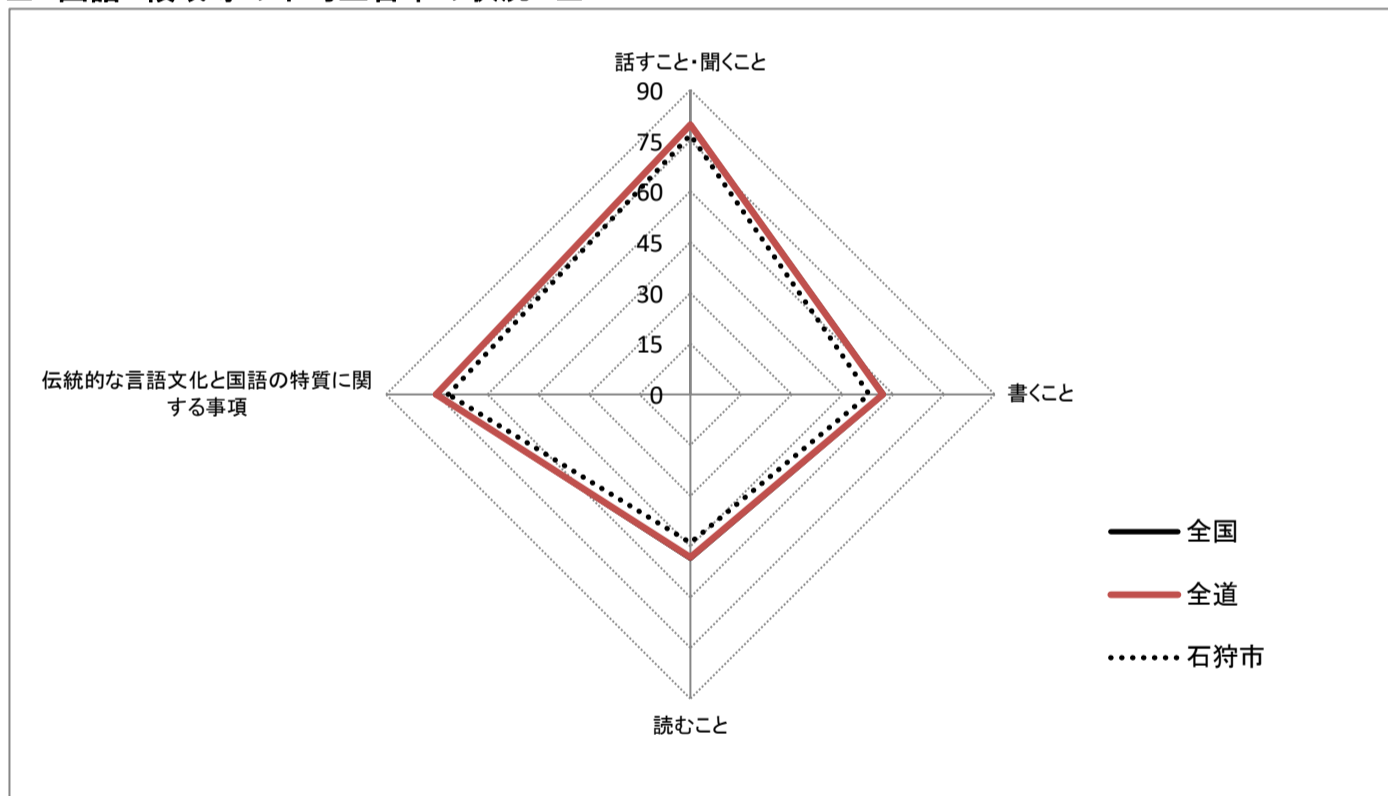
□ 正答率の状況 □

	国語	
	平均正答数	平均正答率
全国(公立)	9.0問/14問	64.6%
全道(公立)	9.0問/14問	64.5%

全道との比較	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い
石狩市 : ○ 全国 : ☆					☆		○		

相当高い … 7ポイント以上の範囲	ほぼ同様(下位) … -1ポイント以下-3ポイント未満の範囲内
高い … 5ポイント以上7ポイント未満の範囲内	やや低い … -3ポイント以下-5ポイント未満の範囲内
やや高い … 3ポイント以上5ポイント未満の範囲内	低い … -5ポイント以下-7ポイント未満の範囲内
ほぼ同様(上位) … 1ポイント以上3ポイント未満の範囲内	相当低い … -7ポイント以下の範囲
同様 … ±1ポイント未満の範囲内	

□ 国語 領域等の平均正答率の状況 □



□ 国語科の概要 □

- ◇国語の正答率は全道・全国より、やや低い結果となりました。一昨年度との比較では、問題数が4問増え14問となりました。平均正答率の比較では全国との差は縮まりました。
- ◇領域別では、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の四領域ともに全道・全国よりもやや低い結果となりました。
- ◇問題形式別の正答率では、「選択式」は全道・全国とほぼ同様(下位)、「短答式」は全道・全国よりやや低く、「記述式」は全道・全国より低い結果となりました。

国語

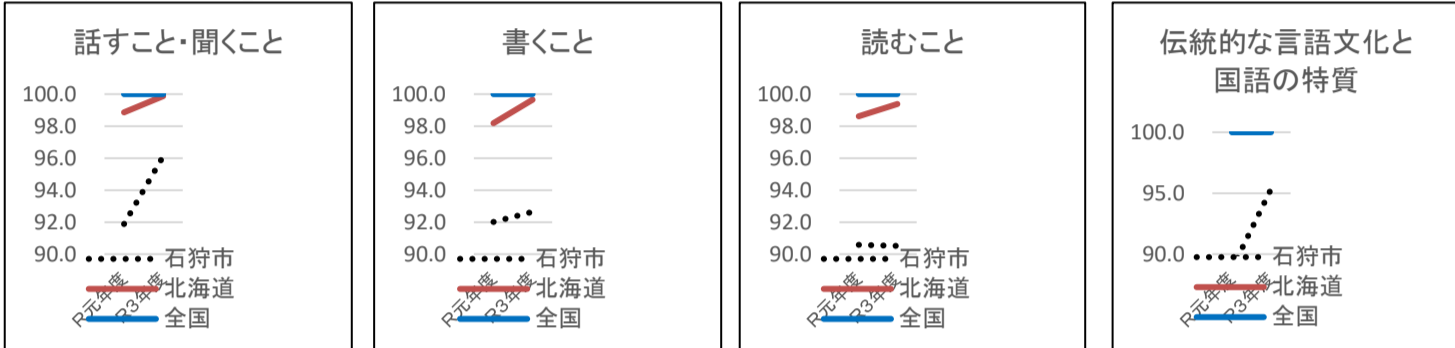
○調査問題の内容

学習指導要領に示されている「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」に基づいて、全体を視野に入れながら中心的に取り上げるものを精選して出題されています。なお、中学校第2学年までの内容となっています。

(例)

- ・参加者の誰がどのようなことについて発言するとよいかと、そのように考えた理由を書く。
- ・意見文の下書きの構成の工夫について、自分の考えを書く。
- ・「吾輩」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているかや、そのような接し方をどう思うかを書く。
- ・事前に確かめておきたいことについて相手に失礼のないように書く。
- ・問題数は14問です。

【各領域の傾向】 グラフは全国を100とした前回調査との比較



- ・「話すこと・聞くこと」の領域は全道・全国よりやや低い傾向を示しています。
- ・「書くこと」の領域は全道・全国よりやや低い傾向を示しています。
- ・「読むこと」の領域は全道・全国よりやや低い傾向を示しています。
- ・「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域は、全道・全国よりやや低い傾向を示しています。

【成果の見られる問題例】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
1一	話し合いでの司会者の発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する	話し合いの話題や方向を捉える	話すこと 聞くこと	89.0%	90.2%	89.7%
1二	話し合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する	質問の意図を捉える	話すこと 聞くこと	90.5%	92.3%	92.5%
4一① 4一②	漢字を読む (伸ばして) 漢字を読む (詳細)	文脈に即して漢字を正しく読む	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	98.1% 87.4%	97.7% 90.1%	97.5% 88.8%

【課題の見られる問題例】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
2一	意見文の下書きを直した意図として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く	書くこと	23.0%	24.5%	24.8%
3四	「吾輩が」が「黒」をどのように評価し、どのような接し方をしているかや、そのような接し方をどう思うか書く	文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを持つ	読むこと	13.0%	18.4%	20.5%

【指導の改善にあたって】

【問題番号2一 書くこと】

目的や意図に応じて、読みやすく分かりやすい文章にするためには、読み手の立場に立って文章を整える必要があります。その際、表記や語句の用法、叙述の仕方、表現の効果などを確かめるように指導することが大切です。

【問題番号3四 読むこと】

文学的な文章を読んで自分の考えをもつためには、「構造と内容の把握」や「精査・解釈」の学習過程を通して理解したことを他者に説明したり、他者の考えやその根拠などを知ったりするように指導する必要があります。その上で、改めて自分が文章をどのように捉えて精査・解釈したのかを振り返ることで自分の考えを確かなものにするように指導することが大切です。

【教科（国語）に関する意識（生徒質問紙項目43～51より）】

(43)	「国語の勉強は好きですか」についての肯定的な回答は、全道の61.4%、全国の60.8% に対して石狩市は、52.4%で全道より9.0ポイント、全国より8.4ポイント低くなっています。
(44)	「国語の勉強は大切だと思いますか」についての肯定的な回答は、全道の90.8%、全国の91.6% に対して石狩市は92.3% で、全道より1.5ポイント、全国より0.7ポイント高くなっています。
(45)	「国語の授業内容はよく分かりますか」についての肯定的な回答は、全道の81.0%、全国の80.1% に対して石狩市は78.6% と、全道より2.4ポイント低く、全国より1.5ポイント低くなっています。
(46)	「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」についての肯定的な回答は全道の88.0%、全国の88.7% に対して石狩市は91.1% で、全道より3.1ポイント、全国より2.4ポイント高くなっています。
(47)	「国語の授業では、言葉の特徴や使い方についての知識を理解したり使ったりしていますか」についての肯定的な回答は、全道の81.1%、全国の81.8% に対して石狩市は78.4% で、全道より2.7ポイント、全国より3.4ポイント低くなっています。
(48)	「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか」についての肯定的な回答は、全道の56.7%、全国の61.3% に対して石狩市は46.6% で、全道より10.1ポイント、全国より14.7ポイント低くなっています。
(49)	「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えが伝わるように根拠を明確にして書いたり表現を工夫して書いたりしていますか」についての肯定的な回答は、全道の73.7%、全国の74.6% に対して石狩市は68.8% と、全道より4.9ポイント、全国より5.8ポイント低くなっています。
(50)	「国語の授業では、目的に応じて文章を読み、内容を解釈して自分の考えを広げたり深めたりしていますか」についての肯定的な回答は、全道の73.7%、全国の74.6% に対して石狩市は68.8% と、全道より4.9ポイント、全国より5.8ポイント低くなっています。
(51)	「今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか」について、「最後まで努力した」との回答は、全道の72.3%、全国の73.7% に対して石狩市は63.2% と、全道より9.1ポイント、全国より10.5ポイント低くなっています。関連して、4問あった記述式問題の無解答率の平均は、全道の11.9%、全国の11.4%に対して石狩市は15.7%で、全道より3.8ポイント、全国より4.3ポイント高くなっています。

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果分析

【中学校 数学】

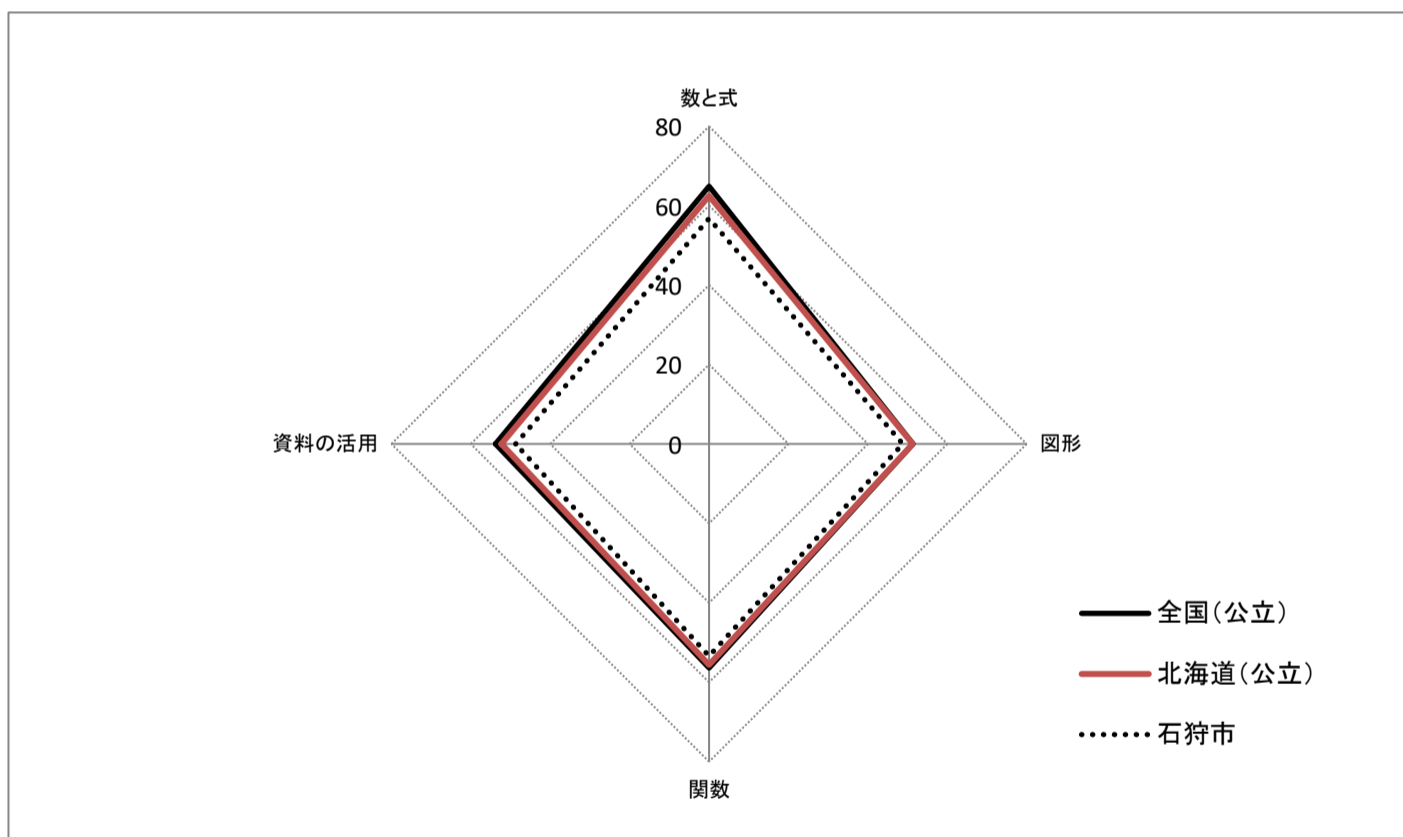
□ 正答率の状況 □

	数学	
	平均正答数	平均正答率
全国(公立)	9.1問/16問	57.2%
全道(公立)	8.9問/16問	56.0%

全道との比較	相当高い	高い	やや高い	ほぼ同様(上位)	同様	ほぼ同様(下位)	やや低い	低い	相当低い
石狩市 : ○				☆			○		
全国 : ☆									

相当高い … 7ポイント以上の範囲	ほぼ同様(下位) … -1ポイント以下-3ポイント未満の範囲内
高い … 5ポイント以上7ポイント未満の範囲内	やや低い … -3ポイント以下-5ポイント未満の範囲内
やや高い … 3ポイント以上5ポイント未満の範囲内	低い … -5ポイント以下-7ポイント未満の範囲内
ほぼ同様(上位) … 1ポイント以上3ポイント未満の範囲内	相当低い … -7ポイント以下の範囲
同様 … ±1ポイント未満の範囲内	

□ 数学 領域等の平均正答率の状況 □



□ 数学科の概要 □

- ◇数学の平均正答率は、全道よりやや低く、全国より低い結果でした。一昨年度との比較では、問題数は16問で同様でした。平均正答率の比較では全国との差は縮まりました。
- ◇領域別では「数と式」は全道より低く、全国より相当低い結果でした。「図形」は全道・全国とほぼ同様(下位)であり、「関数」は全道とほぼ同様(下位)で、全国よりやや低い結果でした。「資料の活用」は全道よりやや低く、全国より低い結果でした。
- ◇問題形式別では「選択式」「短答式」「記述式」ともに全道・全国よりやや低い結果でした。

数学

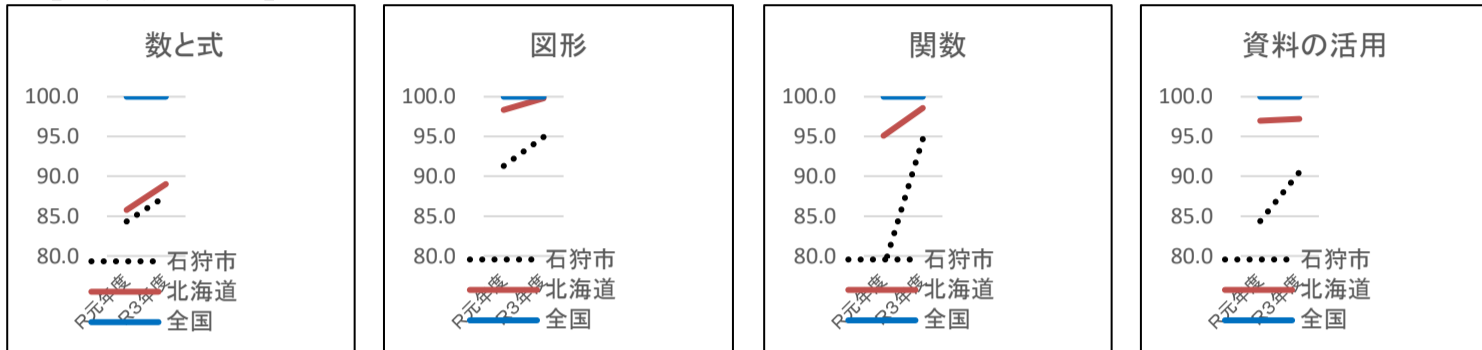
○調査問題の内容

学習指導要領における、「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用」の各領域に示された指導内容をバランスよく出題しています。なお、中学校第2学年までの内容となっています。

(例)

- ・数量の関係を一元一次方程式で表す。
- ・四角で四つの数を囲むとき、四つの数の和はいつでも4の倍数になることの説明を完成する。
- ・四角形A B C Eが平行四辺形になることを、平行四辺形になるための条件を用いて説明する。
- ・与えられた表やグラフを用いて、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明する。
- ・二つの分布の傾向を比べるために相対度数を用いること的前提となっている考えを選ぶ。
- ・「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する。
- ・問題数は16問です。

【各領域の傾向】



- ・「数と式」の領域は、全道より低く、全国より相当低い傾向を示しています。
- ・「図形」の領域は、全道・全国とほぼ同様（下位）の傾向を示しています。
- ・「関数」の領域は、全道とほぼ同様（下位）で、全国よりやや低い傾向を示しています。
- ・「資料の活用」の領域は、全道よりやや低く、全国より低い傾向を示しています。

【成果の見られる問題例】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
5	反復横とびの記録の中央値を求める	与えられたデータから中央値を求めることができる	資料の活用	81.8%	84.6%	84.5%
7 (1)	与えられた表やグラフから、砂の重さが75gのときに、砂が落ちるまでの時間が36.0秒であったことを表す点を求める	与えられた表やデータから、必要な情報を適切に読み取ることができる	関数	92.8%	93.3%	93.5%

【課題の見られる問題例】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	石狩市正答率	全道正答率	全国正答率
6 (3)	四角で4つの数を囲むとき、四角で囲んだ4つの数の和がどの位置にある2つの数の和の2倍であるかを説明する	数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明することができる	数と式	26.7%	30.1%	30.3%
7 (2)	与えられた表やグラフを用いて、2分をはかるために必要な砂の重さを求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる	関数	20.9%	27.3%	27.7%
9 (3)	$\angle ARG$ や $\angle ASG$ の大きさについていつでもいえることを書く	ある条件の下で、いつでも成り立つ図形の性質を見だし、それを数学的に表現することができる	図形	30.0%	28.6%	28.8%

【無解答率の高い問題例】

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	領域	石狩市		全道		全国	
				正答率	無解答率	正答率	無解答率	正答率	無解答率
8 (3)	日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にある」と主張できる理由を、グラフの特徴を基に説明する	データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	資料の活用	5.0%	41.0%	8.9%	35.8%	11.1%	32.2%

【指導の改善にあたって】

<p>【問題番号6 (3) 数と式】 数の性質について成り立つ事柄を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明できるように指導することが大切です。この設問を使って授業を行う際には、自然数を五つずつに区切った表を六つずつに区切った表に変えて、四角で四つの数で囲むとき、四角で囲んだ四つの数の和は、2の倍数になることを見だし、どんな数の2倍になるか説明する活動を設定することが考えられます。</p>
<p>【問題番号7 (2) 関数】 日常的な事象における伴って変わる二つの数量について、観察や操作、実験などの活動から得られたデータを、表やグラフに表現することを通して、その二つの数量関係を捉えることができるように指導することが大切です。その際、表されたグラフや表のもつ性質を利用して関係を見いだす活動を取り入れることが考えられます。</p>
<p>【問題番号9 (3) 図形】 条件を保ったまま動かした図形を観察し、辺や角について変わらない性質を見いだす活動を取り入れ、ある条件の下でいつも成り立つ性質や関係を捉え、数学的に表現することができるように指導することが大切です。</p>
<p>【問題番号8 (3) 資料の活用】 データの分布の様子を捉える場面を設定し、データの傾向を的確に捉えて判断できるように指導することが大切です。この設問を使って授業を行う際には、「日照時間が6時間以上の日は、6時間未満の日より気温差が大きい傾向にあるかどうか」について、データの分布の比較から検討し、判断する場面を設定することが考えられます。その際、作った二つの度数分布多角形における分布の特徴について話し合うことが考えられます。</p>

【教科(数学)に関する意識(生徒質問紙項目52～60より)】

(52)	「数学の勉強は好きですか」についての肯定的な回答は、全道の55.4%、全国の59.1%に対して石狩市は、64.4%で全道より9.0ポイント、全国より5.3ポイント高くなっています。
(53)	「数学の勉強は大切だと思いますか」についての肯定的な回答は、全道の82.8%、全国の84.1%に対して石狩市は83.8%で、全道より1.0ポイント高く、全国より0.3ポイント低くなっています。
(54)	「数学の授業内容はよく分かりますか」についての肯定的な回答は、全道の72.4%、全国の74.6%に対して石狩市は76.3%と、全道より3.9ポイント、全国より1.7ポイント高くなっています。
(55)	「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか」についての肯定的な回答は、全道の72.5%、全国の74.6%に対して石狩市は75.6%で、全道より3.1ポイント高く、全国より1.0ポイント高くなっています。
(56)	「数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」についての肯定的な回答は、全道の45.2%、全国の50.6%に対して石狩市は47.2%で、全道より2.0ポイント高く、全国より3.4ポイント低くなっています。
(57)	「数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか」について、「最後まで努力した」との回答は、全道の73.3%、全国の75.8%に対して石狩市は80.2%と、全道より6.9ポイント、全国より4.4ポイント高くなっています。
(58)	「数学の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか」についての肯定的な回答は、全道の83.7%、全国の83.5%に対して石狩市は90.2%と、全道より6.5ポイント、全国より6.7ポイント高くなっています。
(59)	「数学の授業で問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いていますか」についての肯定的な回答は、全道の87.9%、全国の86.6%に対して石狩市は86.3%と、全道より1.6ポイント、全国より0.3ポイント低くなっています。
(60)	「今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、どのように解答しましたか」について、「最後まで努力した」との回答は、全道の54.5%、全国の57.8%に対して石狩市は52.4%と、全道より2.1ポイント、全国より5.4ポイント低くなっています。関連して、5問あった記述式問題の無解答率の平均は、全道の22.9%、全国の22.1%に対して石狩市は26.7%で、全道より3.8ポイント、全国より5.5ポイント高くなっています。